

科目ナンバリング		U-LAS02 20015 SJ36										
授業科目名 <英訳>		日本近代文学基礎ゼミナール Introductory Seminar on Japanese Modern Literature II					担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 須田 千里			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)		芸術・文学・言語(各論)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	ゼミナール (対面授業科目)			
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	金5			配当学年	全回生		対象学生	全学向	
[授業の概要・目的]												
江戸川乱歩の短篇小説を読む												
江戸川乱歩は近来研究の進んできている探偵小説作家である。 この授業ではその短編集を取り上げ、皆で分担して読んでいくことで作品世界を味わうとともに、日本近代文学を研究する基本的な技法、すなわち、問題意識の設定、論の立て方、説得的な発表の仕方、独自性をいかに出すか、などを学ぶ。 互いに意見交換することで、知見を高めていきたい。												
[到達目標]												
受講生は、自分が担当した作品について、自分なりのアプローチを行いながら、それを自分の言葉で論理的に発表できるようになる。ほかの受講生は、当該作品に関して素朴な疑問や発表内容への質疑を通じて、批判的読解力の養成を行い、作品理解を深めることができるようになる。 発表者和其他の学生との質疑、意見交換により、互いに相手の考え方を理解し、自分の考えを明確に述べるようになる。												
[授業計画と内容]												
1. ガイダンス (授業の進め方など) と江戸川乱歩の概説、授業の進め方の説明。 受講者各自で教科書から好きな作品を選び、順番を決めて発表していく。発表に際しては、作品のあらすじ、語句の注釈を行った上で、自分独自の論点を文章にまとめ、レジュメとして配布し、30分程度で発表する。残りの60分程度は、他の受講生との質疑応答や意見交換に費やされる。 2～14. 教科書に掲載された以下の作品について、受講生が適宜好きな作品を選んで発表し、みなで質疑応答を行う。「二銭銅貨」「D坂の殺人事件」「心理試験」「白昼夢」「屋根裏の散歩者」「人間椅子」「火星の運河」「お勢登場」「鏡地獄」「木馬は廻る」「押絵と旅する男」「目羅博士の不思議な犯罪」「人でなしの恋」 15. フィードバック												
[履修要件]												
特になし												
[成績評価の方法・観点]												
平常点(質疑や意見表明の回数、内容)50パーセント、発表(論理的に自分の言葉で発表できたかや、質疑での他の受講生とのやり取りの成熟度)50パーセント。												
[教科書]												
江戸川乱歩『江戸川乱歩短編集』(岩波文庫) ISBN:978-4003118115												
-----日本近代文学基礎ゼミナール(2)へ続く↓↓↓												

日本近代文学基礎ゼミナール(2)

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

発表担当の学生は、各自がA4プリント3～4枚程度にレジュメをまとめ、発表する。そのための作成時間が必須である。

受講生は、発表者の意見や教員の話がより深く理解できるよう、事前に教科書を読み、関心のある点・気に掛かる点・分からない点などを事前に考えておく。その上で授業に出席し、質問や意見を述べる。

[その他（オフィスアワー等）]

積極的に発言すること。

教室の規模に応じて受講者数を制限する。

発表順は早い者勝ちかじゃんけんで決めるので、スケジュール調整しておくこと。発表時の無断欠席は単位なし。